

放射線検査の被ばく説明書

1. 放射線検査の必要性

放射線検査による放射線が人体に与える影響よりも、検査を受けることによる利益が上回っていると判断された場合に限り検査を行います。放射線検査は、病気の発見や治療のために診断上必要不可欠なものであるため、医師の判断のもとで検査を行います。検査を受けなかった場合、必要な情報が得られず適切な治療が受けられない場合や、治療の遅れが生じる可能性があります。

2. 放射線検査による人体への影響

放射線検査で受ける被ばくは、医学的に問題となる可能性が低いと考えられています。ただし、胎児は放射線の影響を受けやすいと言われていています。妊娠または妊娠されている可能性のある方は、事前に医師にご相談ください。

3. 放射線検査の被ばく線量

放射線検査で想定される被ばく線量は、撮影する装置（CT、PET など）、撮影する部位、撮影する範囲、撮影の方法、体格などにより変わるため、診療を受ける方によって様々です。ご自身が受けられた検査の被ばくについて知りたい方は、医師または当日検査を受けられた担当のスタッフにご相談ください。

4. 適切な検査・治療を実践するための取り組み

当院では、放射線診療を受ける方の被ばく線量を達成可能な限り低く抑えるように、また、検査・治療のために有益な情報を提供できるように、定期的に見直しを行い、被ばく線量を管理しています。

5. その他

その他に何かご質問等ありましたらお問い合わせください。